

(1)

昭和町広報



しょうわ 広報

No.16

昭和49年1月発行 役場企画室 編集



歓心

喜びの74年と
迎える初日の出

町の人口

12月1日現在

男	3,168人
女	3,150人
計	6,318人
世帯数	1,567戸

まして おめでとうございます



新春を 迎へ

昭和町長 石原忠則

新春を迎え皆様のご健勝を心からお喜び申し上げます。

昨年は各位のご協力をいただき、変容する社会情勢に対応しながら多様化した町政を執行、産業、教育、文化、福祉の振興及び都市基盤整備など町政全般につき着実に、又、順調に進歩いたしております。

これも偏に町民各位のご指導と支援と、真に地方自治の本質を理解下さった賜のであり、深く感謝いたしております。

任期最後の新春を迎え、町発展のため献身努力すべきことの責任をひとしお痛感いたし、本年は左記諸事業を重点に力強く推進いたしてまいりたいと存じます。

産業経済の開発

圃場整備の最終年になるので、補修工事を完了し、高効率生産団地育成対策事業、農道舗装などを推進し、農業の振興を計るとともに、造成のなつた国母工業団地には、優良企業を立地、金無工業団地については、補償問題の早期解決に努力、造成を促進し、町構造の基盤確立を計りたいと存じます。

骨格道路の整備

中央道については、関係者と十分に検討協議をなし、設計協議において、将来に悔を残すことなきよう、又、特定の人に犠牲を負わすようなことなく、地域の開発に資することができるように又県道甲府、市川大門線バイパスについては、早急に中学校用地内通過問題を解決して、路線の確定を計るとともに、相生一

丁目玉穂線、昭和町1、3号線、水道々路等の都市計画街路の工事促進をなし、社会開発の推進を計る。

学校教育の充実と社会教育の振興

中学校々舎については、全体が老朽化して、特に授業に危険を感ずるわけではないが、一部は建物も古く、採光暖房なども充たでなく、運動場は小学校と兼用のため、何かと教育に不都合であるので、昨年取得した用地に、理想的な新校舎を二ヶ年計画で建設し、義務教育の充実を期すると共に、激動する社会情勢に対処するため、社会教育のより拡充と、公民館活動及び、視聴覚ライブラリーの活用を通じて努める。

生活環境の整備と保健衛生の推進

清掃施設のうち、し尿処理場については、玉穂村境内に建設地の確保ができ、近隣部落の了解の見とおしもついたので、早急に建設を計る。

ゴミ処理場については、中巨摩郡、大半の町村と共同で、西部境内に建設すべく、目下取得を鋭意推進中であり、確定次第建設する予定であります。

以上の社会開発事業の実施とともに、社会福祉の増進と住民生活に直結した施策をきめ細かに積極的に推進してまいらるる決意でありますので、重ねて各位におかれては本年も倍旧のご協力を賜わりますようお願いするとともに、皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさついたします。

明け

新年



年頭にあたって

議 長 有 泉 淳 夫

皆様と共に輝かしい新春をことほぎ、あわせて町政の進展を御祝い出来ますことは、私共議会人として最も喜びとするところであります。

顧りみまするにわが昭和町にとりましては、ここ数年来本当に諸事多難のうちに、あわただしく過ぎ去ってまいりましたが、この間国母工業団地問題を始め、中央道、新都市計画法による線引釜無工業団地、中学校建設、交通安全対策道路(新県道)、昨年完了をいたしました呉宮園場整備事業等々、又これに加えて広域行政による水道、衛生センター、学校教育の充実等、まさに重要課題の積み重ねの時でございます。

そしてこれ等重要課題は、四十六年十二月議会に於て決せられました基本構想を土台といたしまして、「町の総合計画」これは当初の予定より大部おこなれている感じがいたしますが、前記いたしました重要問題山積のため、やむをえないとは申せこれが計画には十二分に町民の声を活用せしめ、将来の本町の指針として悔い

年男大いに語る



私し昭和の地に生を受けて生

々々と大きな諸問題が積み重な

町民 された寅年が六回目になりました
の皆様 その間、町民の皆様には大変御
新年お 厚情と御指導をいただきまして
めでと 心から感謝しております。
うござい さて昭和四十九年の年頭にあ
います たって昭和町の全容を見るに色

ることのない立派なものでなくてはならないと思っております。当然の責務とは申せ、議会も十分に議してまいりたいと考えております。さて本年は、これ等のことごとくは、多くの協議の結果煮詰められ計画樹立、そして基礎的工事の着工へと、それぞれ静かな序曲が奏でられ、来年度へ又その翌年度へと、大きく峻しい槌音の継続し得る、即ち飛躍せねばならない年だと考えます時、行政の大きな伸展は町民の福祉増進であるとは知りながらも、町の財政面を思う時、これこそ大きな厳しさを覚悟せねばならないと思

然しながら、これも本町が大きく飛躍するための苦しみだとするならば、町当局は勿論のこと町民一丸となって粉骨砕身頑張

り続けられることだと確信しておるところでございます。年頭に当り、いささか所感を述べ皆さまの御健康と御幸福をお祈りして御挨拶いたします。

ております。中央道に新設県道 全町内の皆様、和を以て一致文化・経済に昭和町民にとつて 協力して昭和町の発展のために画期的な問題ばかりです。この 邁進しようではありませんか、現実をどう受けとめるかが一番 幸い今年は十二支の寅年です、

の問題だと思えます。 昔のたとえと云う言葉があります 勇敢に忍耐つよくとりくもう 町としては町全体の発展につな げわれ町民は各自が自己の 幸と家庭の発展につながるよう さいますが一言あいさつ申しあ けます。 受けとめることが、一番大切 の事ではないかと思えます。

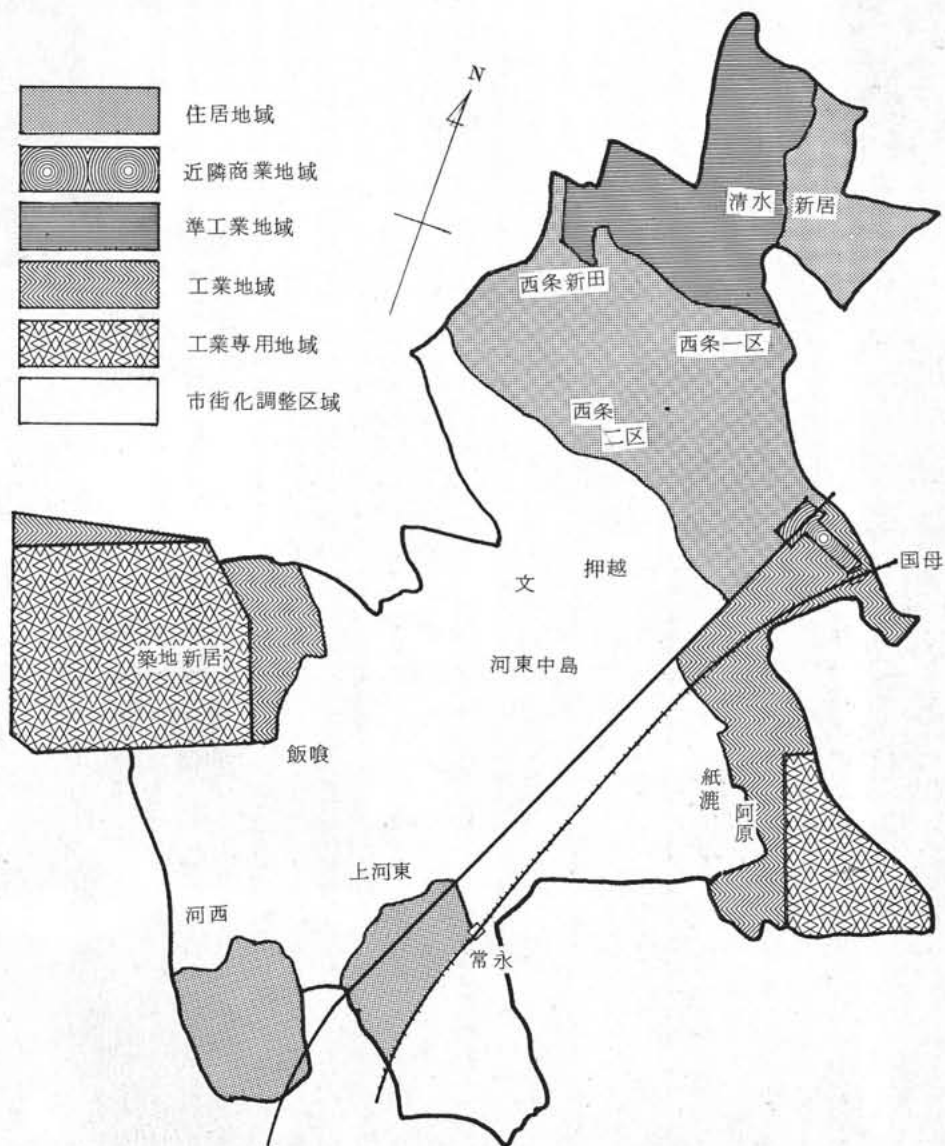
寅年生 堀之内 敏 男

新しい用途地域決まる

— 都市計画 —

これまでも用途地域が定められていましたが、最近の建物の実態や生活環境改善の要求にあわない面がでてきたため、これまでの制度が一部改正されました。

この制度に伴い昭和町の用途地域も下図のとおり、五地区の新用途地域に細分化されましたのでお知らせします。



成人おめでとう

成人となつて



湯村君

西条二区 湯村春樹
いがあるのではあるまいか、他にはあまり変化はなく、今まで通りやっていくだけである。また将来の理想としては第一に、視野の広い人間になりたいと思う。これからは日本や世界で起っていることを自分で考え判断できるようにするべきである。第二には、いつまでも発展していきけるような人間になりたい。成長することと自分が、人生の面で成人と未成年との主な違いは、社会的責任の自覚と、自主性

成人になることによつて、社会的責任や義務がはつきりと生じるわけだからそれだけ今まではよりは自主的に行動しなければならぬと思う。社会的責任の自覚と、自主性の面で成人と未成年との主な違いは、社会的責任の自覚と、自主性

成人するにあたって

押越 古屋 磨由己



古屋さん

成人する……今までよく耳にしたり、私自信も何げなく幾度か口にしてきた言葉であるのにもかかわらず、身近なものとして捕えてなかつたのですが、改めてこの意義を考えると、その大きさに驚いてしまいます。ただ単に選挙権が与えられるというだけでなく、一人前の大人として扱われ、一人の人間として人格を認められると同時に私たちの一つ一つの言葉や行動も厳しく評価されるわけです、ですから大人としての自覚と責任を持たなければいけないと、痛感している次第です。特に今日のように石油危機だとか、インフレ、或いは食糧危機と言われ、これらの事が大きな社会問題として取り上げられている中で、大人としての第一歩を踏みだそうとしている私たちですが、私なりの責任と自覚を新たにして、初心忘れることなく進んで行きたいと思ひます。

山梨栄和学院勤務



成人式を迎える人々

清水新居

- 渡辺矢一 笹本 要 佐野 才 古屋磨由己 田中邦彦 望月保則 海野花枝 海野栄江
- 清 樋田春樹 藤本陽子 石川 山口百合子 海野愛子 赤池
- 信恵 千野美代子 深沢千恵子 力 海野 実 望月あけみ 金丸豊子 伊藤二広

西条一区

- 金丸 優 名執松美 角野賢 神宮寺達雄 一之瀬善徳 窪造 木原 隆 久保田文人 野田和美 窪田博美 花形三千子
- 沢 誠 三井しのぶ 野呂瀬尚 伊藤靖仁 花形豊美 堀内克己
- 向山 晃 幡野政幸 志村武夫 石原正男 佐野千恵子 芦沢薫
- 新井一枝 興石貞子 築地新居

西条二区

- 望月日出美 依田淳一 滝口 二郎 興石ひとみ 興石吾郎
- 綾子 渡辺むつ子 嶋津文範 武内 誠 倉田 東 田中一男
- 秋山泰志 井口博光 河西邦人 磯部一成 福田昭人 望月裕子
- 秋山西郎 深沢 晃 小宮山好 鈴木久義 今津杉子 長谷部智美 深沢 誠 若尾敏彦 河西子 上田 将 鷹野和弘
- 昭 笹之池喜直 深沢正敏 湯飯 喰
- 村春樹 山本隆子 岡田恵美子 小沢和夫 磯部香代子 堀内

西条新田

- 塚原直美 塩田正和 長田芳 口正一

洋 福島 睦 若尾清子 宮崎

俊恵 梶 政仁 森尾光弘 市

河 西

- 川 肇 麻野茂美 大森たま江 深尾
- 山本恵子 金丸 進 塚田葉 千恵子 萩原邦彦 八木明子
- 子 永井恵美子 米倉まゆみ 五味多美穂 渡辺 税 保坂正信 石原 勉 保坂正広

志村和子 有泉光久 深沢義郎

功刀直人 丹沢和子

押 越

- 小林 稔 有賀一秀 山田秀 野沢 稔 保坂和子 保坂恵子 桜井秀一 今沢由紀子 大久保和樹

74

わが町の展望

自動車道

県内の通過ルートも、四十八年九月昭和へた。昨年の十月末に小淵沢町の工事現場に関係も五十一年完成を目標に各所で工事が

打ちは既に終り、引続き目下それ以南の西業が進められつゝあります。これから用地取得と工事の完成に向って、各



押原中学校々舎建設

戦後の六・三・三制実施にもとづいて建設された現在の押原中学校々舎も既に危険校舎となり新校舎建設の必要に迫られました。

町では昭和四十九年度より継続事業として新校舎建設の計画をたて、校舎敷地を選定いたしていたが、現在の町中央公民館前を最適地として昨年八月より用地買収を始め、地域の人たちの協力によって一万坪の取得を完了して造成も終了しました。

いよいよ四十九年度より建設に着手する運びとなったわけですが、目下設計等については、先進学校等を視察して近代的なモデル校舎を建設すべく検討いたしております。

近い将来立派な校舎で学ぶ中学生の喜びの笑顔が見られると思います。



一部工事初まった

国母工業団地

国母工業団地

町の南東部に国母工業団地があります。甲府市、玉穂村、昭和町の三市町村の共同事業で面積にして一〇〇万平方メートルの工業団地計画をはじめて八年の歳月がたちました。

県の唯一の工業専用団地として、地元地権者の理解と協力を得て造成にかゝりましたが、用地取得の困難さを、いやと云う程身をもって味わい、関係者は苦勞の連続でした。

どうやら玉穂村と甲府市の一期事業が完成、いざ公募と云うとき例のドルショック、しかし関係者の努力で十三社の企業立地が決定、現在工場建設の響きが周辺に力強くこだましている昭和町分二五万平方メートルについても昨年度地元地権者の協力を得て買収が終り、造成事業に入ることになった。四十九年は公害のない優秀企業誘致を目標に、まず造成事業を一日も早く完成させることが先決と思います。

本町の多年の計画がやっと実を結び、地域の発展が約束される時節が来たわけですから。



釜無工業団地予定地

釜無工業団地

釜無工業団地は県の長期開発計画の基幹団地として、甲西団地と共に県開発公社によって、目下買収が進められています。造成計画面積八七ヘクタール幹線道路一八米にて整地をなし工業専用団地として造成する予定です。

昭和四十七年より買収に入り地元関係者の協力を得て、一部の問題を残し大抵の話し合いがつく見通しです。

戦前は軍の飛行場として使用され、戦後開拓地として新たに入植した人々及旧所有者達の手によって、立派な農地に生れかわったが、再び県及町発展の中核をなす工業団地として、生れかわろうとしています。



工事中の常水分譲団地



中央高速

中央高速自動車道西の宮線のうち、山梨勝沼間の路線発表をもって全部確定しまして、起工式が挙げられ、いよいよ本県進められることになりました。

昭和町関係は昭和インターまでの中心杭条二区、押越、阿原地区の中心杭打ちの作四十九年は愈々設計協議から巾杭打ち、そ種の業務が進められることでしょう。



インター附近の測量

戸を建設する計画にて、昭和四十七年度より建設いたしております。

町及び県営住宅は健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を、住宅に困っている低所得者の人達に安い家賃で賃貸する目的で建設し、又積立分譲住宅は国及び県の重点施策である住宅政策の一つとして一世帯一住宅を実現するために、分譲住宅をより買いやすくして、勤労者の皆さんに「マイホーム」を持つてもらう為に建設いたしております。既に町営住宅と積立分譲住宅の一部建設が終り、引続いて建設中です。

あと二、三年後には身延線の車窓から立派な住宅団地が眺められる事と思えます。

マイホームに夢

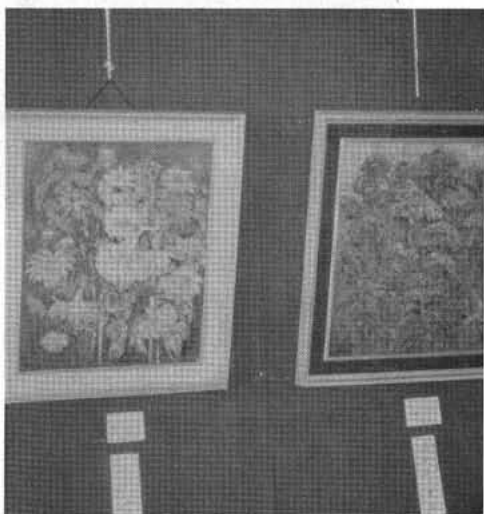
一 常営住宅団地

常永住宅団地は本町の上河東地区に約一三〇〇坪にて、町及び県営住宅と県住宅供給公社の積立分譲住宅、併せて二七四

花道展場



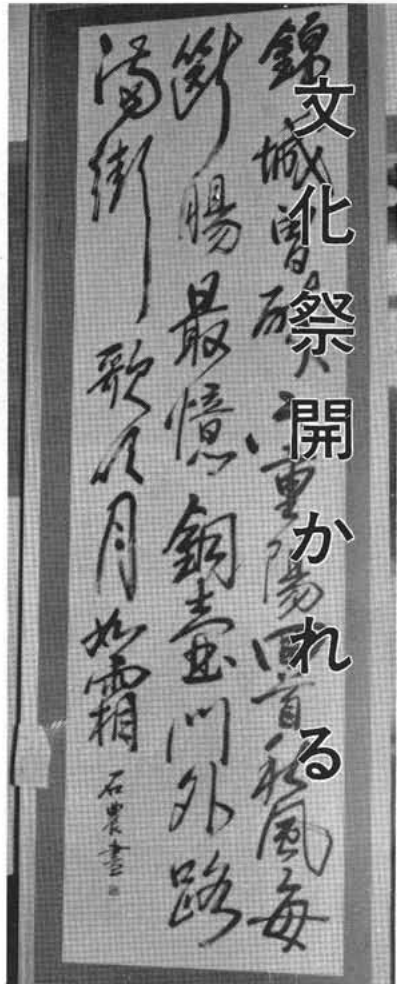
芸能発表(民踊)



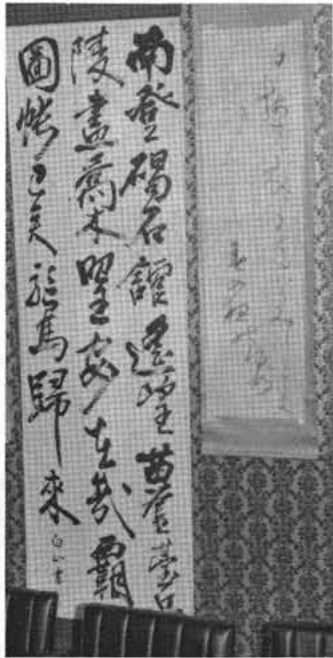
絵画展の力作

昭和町文化協会主催、昭和町、昭和町教育委員会の協賛の第九回文化祭が、去る十一月二十三日の勤労感謝の日に、中央公民館で盛大に開かれました。

当日の催しは、文芸展覧会、芸能発表、囲碁将棋大会等で、特に文芸展覧会場は、年ごと進歩する力作に訪ずれた人々の目を楽ませてくださいました。



河西妻会手芸品



書道展より



ポルト写真展会場



和室での囲碁大会

囲碁・将棋 大会成績

A級		B級	
優勝	奥石 善平	優勝	岡 辰男
準優勝	風間 辰男	準優勝	佐野 統
将棋の部			
A級		B級	
優勝	新井 泰夫	優勝	内田 正文
準優勝	五味 一素	準優勝	磯部 淳章

盛大に 農業まつり 開かれる

十一月二十三日の勤労感謝の日に例年開催されている農業まつりも、今年は十回目を迎え、本町農業研究会連絡協議会(会長 保坂篤)主管のもとに町立押原小学校屋内体育館を中心に盛大に開催され、町民多数の参観のうち農産物品評会において優秀農作物の出品者の表彰も行なわれました。

品評会における出品点数も二八四点と、ここ毎年三〇点から四〇点増加しており、都市近郊農村として生鮮野菜が十二品目

にわたって出品されました。出品物は二十二日に搬入され、午後からは峡中農業改良普及所の望月所長はじめ各担当普及官により厳正な審査が行なわれた。出品者のうち主な入賞者は次のとおりです。

- 山梨県農務部長賞
- 海野長和 押越(ホーレン草の部八年連続最優秀賞)
- 山梨県農業研究協議会長賞
- 野呂瀬一郎 西条一区(柿の部最優秀賞)
- 峡中農業改良普及所長賞
- 五味一素 西条二区(大根の部最優秀賞)
- 甲府地区農業研究協議会長賞
- 相原 豊 飯喰(花芯白菜の部最優秀賞)
- 各品目最優秀賞受賞者
- 水稻の部 花形武男(紙漉河原)
- 結球白菜の部 野沢昭二(築地新居)
- 甘らんの部 保坂 篤(上河東)
- カリフラワの部 高野夏子(西条二区)
- ネギの部 野沢正典(西条一区)
- 里芋の部 豊川式也(河西)
- 鶏卵の部 窪田直三(紙漉河原)
- 抑制きゅうりの部 石川 暁(河西)

各課紹介

＝振興課＝

ること、上下水道の建設に関すること等

「構成」

振興課長 長田善員
産業係長 河田 透

主事

佐野元隆(農振関係)

秋山睦夫(農業委員会)

小林正江(一般庶務)

技師 宮井義孝(農業技術)

主事補 志村武夫(農政)

嘱託 窪田和雄(土地改良)

建設係長 山田 昇

主事補 後藤止比古

(土木・建設)

振興課の仕事は、近年の行政需要の増大に伴ない複雑多岐に亘り、農業を含む産業経済に関する事務や、道路、河川、住民等の土木建築に関する事務等広い分野の行政を担当しております。

課内は現在次のとおり係を二つに分けておりますが、全課員が一致協力する中で、住民の協力を得ながらその要望にこたえるべく努力をいたしております。

「産業係」

産業振興、商工振興、農地法及び農業委員会に関すること、土地改良に関すること観光及び職業安定に関すること等

「建設係」

道路、河川、堤防、橋りょう等土木に関すること、公有水面に関すること、町営住宅に関すること、



税の相談

土地や建物を売ったときの、「譲渡所得」のあらまし

土地や建物を売った場合税金はどれ程かかるかなどという質問がよくかれます。土地や建物を売るといことは、いつも

あることではありませんので、その税金について不安を持たれた場合の税金の計算について説明しましょう。

土地、建物を売ったときの利益を譲渡所得とい、税金がかかりますが、この譲渡所得は他の所得税と分離して計算します。

又売った土地や建物の所有期間によって長期譲渡所得と短期譲渡所得に区分してそれぞれ異なった方法で税金を計算します。

「長期譲渡所得とは」
五年を超える期間もっていた土地や建物を譲渡したことによる所得。

税率
昭和四十八年中に売った場合は二十％(県町民税五％含む)
昭和四十九年と五十年に売った場合は二十六％です。

「短期譲渡所得とは」
五年以下の期間しかもつてい

なかつた土地や建物を譲渡したことによる所得です。

ただし昭和四十四年一月一日以後に購入したものについてはその保有期間が五年を超えていてもその譲渡所得は短期譲渡所得となります。

税率
五十二％(県町民税十二％含む)

尚売渡した土地建物の譲渡価額から限られた控除がなされます。どうか四十八年中に譲渡所得があつた方はもれなく昭和四十九年二月十五日から三月十五日までの間に申告されるよう準備して下さい。

尚詳細については役場税務課まで問合せ下さい。

☆昭和四十八年一月一日から十二月三十一日までに土地を売られた方にお知らせ☆

右に該当される方は、近日中に甲府税務署より「譲渡内容」についてお尋ね「通知」があります。

本町では一月十日(予定)頃該当者を公民館に集め記載要領の説明会を催す計画ですので、関係者は必ず出席される様連絡致します。

原稿募集

—あなたの意見を—

昭和町広報も新年号で十六回目の発行になりました。

まだ日の浅い事もありまして皆様方に紙面の上で、ごめいわくをおかけ致しております。又予算の関係上年六回の発行ですので、記事のおくれ等、いろいろな問題点がありますが、今年も勉強し、よりよい広報にしたいと思っております。

四十九年度にあたり町民皆さま方の希望と夢を託し、町に対する意見を、考え、将来のあり方等を掲載する事を計画し、みなさんの原稿をお待ちしています。

尚紙面の関係上掲載できない場合もありますので、ご了承下さい。

字数 四五〇字以内
題材 自由
掲載 広報「しろうわ」

三月号
べ切 一月三十一日迄

投稿先 役場企画室広報宛
原稿に住所、氏名、職業、年令を書き添え投稿願います。



年末年始の「3ない運動」にご協力を

- 1 酒を飲んだら運転しない。
 - 2 運転する人には酒は飲ませない。
 - 3 飲んだ人には運転はさせない。
- 年末年始は例年事故が多発し、悲しい正月を迎える家庭が多くなっております。
- 飲酒の機会も多くなりますがお互に協力し、飲酒運転を追究するために「3ない運動」を実施し、明るい、楽しい年末年始を迎えましょう。



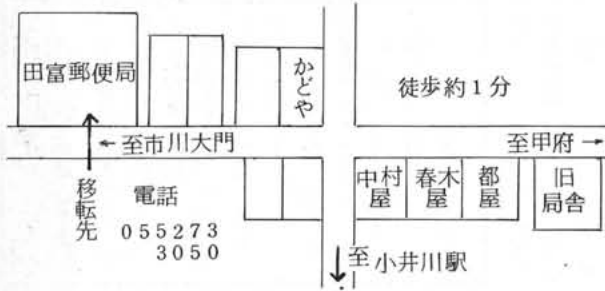
農業委員 新役員を選出

去る十一月二十五日、窪田農業委員会々々長辞任につき農業委員会を開催し、新役員が選出されましたのでお知らせ致します。

- 会長 保坂正巳(新) 清水新居
 職務代理
 副会長 相原豊(新) 飯 喰
 副会長 丸山康弘(再) 紙渡阿原

田富郵便局 移転のお知らせ

局区内の皆さん、日ごろ郵便局をご利用くださりましてありがとうございます。さてこのたび、左記の略図のとおり局が新局舎に移転しましたのでお知らせします。尚、十月十五日から新局舎において事務取扱いが開始されましたので皆さま方のいっそうのご利用をお願い申し上げます。



くらしの工夫は家計簿から

私達の生活には案外ムダやムリが多いものですが、家計簿をつけることによつてそれがはつきりし、くらしの工夫をすることができます。

家計簿記帳で生活の合理化をはかり、明るく豊かな明日を築きましょう。家計簿は貴重なわが家の生活記録であり、豊かな将来への道しるべです。

みんなが貯蓄 住みよい社会

おめでとう



四十八年十月十七日より十一月二十五日届出

- 山下浩一 父 実長男 中島
 杉本 厚 治夫 新田
 山田 学 定幸 押越
 相原弘一 和弘 飯喰
 志村久美子 桂長女 上河東
 石原浩二 理二男 中島
 細田忠司 忠男長男 上河東
 石川秀樹 捷彦二男 河西
 佐藤裕子 敏長女 中島
 小田切幸子 章 二区
 神田幹人 進治二男 二区
 荻沢実樹 一長女 新田
 清水久子 忠造二女 河西

夫 婚姻

- 三科 利一 西条二区
 興石 長子 西条二区
 篠原 政憲 西条二区
 湯舟 頼子 西条二区
 新井 弘 西条二区
 中村 一枝 西条二区
 金丸 正雄 上河東
 保坂恵美子 長沢 信夫 西条一区
 八須 恵子 西条一区
 志村 幸一 河東中島
 大木 睦子 西条二区
 高野 則子 西条二区
 小林 則子 西条二区
 天野 定子 飯喰
 清水 賢志 西条二区
 中田 洋子 西条二区
 並木 寿光 西条二区
 和田 千春 西条二区
 竹野 博文 西条一区
 金丸 博文 西条一区
 河野ちずる 長谷川義国 西条二区
 鈴木栄美子 望月 勝男 西条二区
 高橋 一枝 河西

わたなご広場



短歌教室の講座を終へて

文化協会短歌部長 田中豊蔵

四十八年度昭和町文化協会の事業計画に盛り込まれたる文芸部門、短歌、俳句、川柳の基礎的講座を実施するに当って、先ず短歌教室を十月十日より四回に亘って開いた結果、その成果の顕著なるに驚いた次第です。以来低迷を続けていた短歌部門は、中央公民館の実現と共に一躍その潜在する能力を発揮し今回の短歌教室の如く予想外の発展を見た事を喜ぶものであります。

教室開始より受講者の熱意は回を重ねるごとに高まり、批評或は反論さへも出る勉強振りは講師大森光子先生の適切なる指導と相俟って、大きく躍進し必ずや近き将来わが町の歌壇を不動のものとする事を確信致します。

目まぐるしく進展する日常生

テーマは、歌とフォークダンス

いこいの広場

歌と

フォークダンスの夕べ

一月十八日

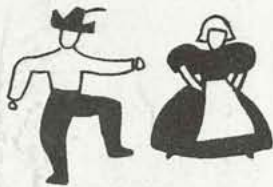
昭和町中央公民館では、みなさんに楽しいひとときを過ごしていただくとうと、来る一月十八日午後七時三十分から講堂に於て、「いこいの広場」を開催いたします。

こんな時
商工会を利用しよう

金融斡旋、経理事務、労働保険、経営の問題等についての相談や指導
国民金融公庫、県単融資
についてすべて商工会が事務を取扱います。

どうぞお気軽に商工会や指導を受けて下さい。
昭和町押越八八五番地
昭和町役場内
電話 三三四四

スの夕べ、と題して望月吾郎さんの歌唱指導のもとに参加者全員が輪をつくり、声高らかに歌い、またフォークダンスやゲームなどをする事になっております。
どなたでも自由に参加できますのでどうぞ多数おいで下さい。



私たちの作品

短歌教室提出作品

それぞれの思ひをもちて著はこぶ
嫁がせし日の夕餉のせんに

河西 湯川 玉忙

ペコニヤの紅めでて持ち入るに
五日もただで陽を恋うるらし

押越 小林 国

ベルの鳴る車窓へだてて吾れと娘の
信じ合ふ顔しばし黙せり

築地 田中 豊蔵

七県をめぐれる旅路終りたり
たかぶりもちて車降り立つ

築地 河野 美子

旅に居る夫の仕事着かゝりあり
威厳をたもつ形のまゝに

河西 佐野 一枝

雲低き空を気にしつ刈り急ぐ
稲架組む手に雨つぶ落つる

中島 麻野きく代

老妻と宿着で酌みし窓近く
海原展け耀やきて見ゆ

中島

工事場の騒音近き窓辺にて
今日一日をミシン踏みおひ

押越 深沢 静香

山の秀をとぎす霧へと登るバス
紅葉割して白きは高麦か

中島 柳沢八十一

発展だ文化たスリルだスピードだ
声に消えゆく命哀しき

河西 長沼 舟水